

助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	株式会社 SOBA プロジェクト
助成対象事業者名	代表取締役 乾 和志
助成金の額	9,138千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	ろう者のニーズにそった複数情報伝達モード(画像・文字字幕・筆談機能・アイコン・シンボルマーク、地図、住所、ビジュアル情報等)を備えたユニバーサルな“電話リレーサービス”(ろう者と聴者を手話通訳者を介してインターネットでつなぐサービス)を提供するとともに、一般社会に認知されるために、その利用者を独居老人の見守りや国内のろう者に限らないグローバルなシステムとしてサービスの提供を行うことが目的。
②	助成対象事業の目標	電話リレーサービスの製品版を完成させ、営業活動を行うことで実際に販売する。

【平成26年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> - 関係者からのヒアリング 前年度までの第一次試作をベースに、実際の聴覚障害者の方々や各種展示会、あるいは手話通訳者の方々などからのヒアリングを行った。 - 製品版の完成 本事業開始時および前年度の成果から策定した開発計画にもとづいて開発を行った。 - 営業活動 各所で本リレーサービスのデモや営業活動を行った。
④	助成対象事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> - 関係者からのヒアリング 実際に利用してもらいながらの、関係者からヒアリングを通じて得られた知見を基に、製品版に対しマイナーな変更を実施した。大幅な変更は次年度以降に計画する予定。 - 製品版の完成 複数伝達モードの実装や呼び出し機能の実装など、計画通りの実装を行い完成させることができた。 また、Web サイトを構築し、電話リレーサービスを無償でエンドユーザ(主に聴覚障害者)に提供するための仕組みを作ることができた。このサイトから申し込みをしてもらうことでIDを無償で提供し実際に利用してもらうことが可能となった。 - 営業的活動 各所で営業活動を行ったが、残念ながら顕著な結果を出すことができなかった。
⑤	補足説明事項	iOS や Android を搭載したスマートフォンやタブレットで動作させることで、リレーサービスの利便性がかなり高まった。無償提供も開始したことで、今後はまずエンドユーザの確保に力を入れたい。